

# ドル/円相場のトレード戦略

## ■ 中長期展望

米国大統領選で大方の予測を裏切りトランプ候補が勝利したことで相場の大きな流れが変わったようです。

当初は「トランプ・ショック」で101円20銭までドル安が進んだものの、その後はトランプ次期大統領の掲げる大型減税や財政出動・規制緩和といった政策に対する期待が高まり、米国株は新高値を更新、米長期金利は急上昇し、ドルも全面高となって「トランプ・ラリー」に変化しました。

### 【ドル/円 週足】



12月1日には、OPEC総会での減産合意を受けた原油高・株高・米国債利回り上昇を背景に今年2月以来となる114円83銭まで上昇し、大統領戦後わずか3週間強で上昇率は13%を超えるものとなりました。

この上昇により年初から続いてきたドル安・円高は終了したことが確認されたといえるでしょう。注目していた長期の趨勢を占う52週移動平均もクリアーに上抜けてきており、当面ドルの下値は限られたものとなりそうです。

この急激なドルの上昇は積み上がった円ロングポジションの巻き戻しによるものですが、12月に入り急速に円ショートポジションが積み上がりつつあります。

市場センチメントが明確にドル買い・円売りに傾いているのであれば、ドルの上昇余地は小さくはなく、年初の水準である120円を試していく可能性も高まってくるものと思われます。

# ドル/円相場のトレード戦略

---

## ■ 短期展望

先週は、イタリアの国民投票で憲法改正案が否決されレンツィ伊首相が辞任を表明したことでリスク回避の円買い戻しとなり 112.88 円まで下落したものの、米国債利回りの高止まりや新高値を更新し続ける米国株式が支援材料となり、週末には 115 円台を回復する動きとなりました。

今週もドルの底堅い動きが続きそうです。

ドルショートポジションの買戻しが一巡したうえ、マーケットではドルロングポジションを積み上げる動きが出てきており、115 円の節目を突破した相場は、新たな上昇モメンタムを得た可能性もあります。

もともと、もう一段の上昇が期待されるものの、短期的に買われ過ぎの状況にあることは事実であり、113 円台半ば程度までの浅い下押しのリスクには備えておきたいところです。